

支部長退任にあたって～「西東京紫紺会」のあゆみ～

水井高志

西東京市地域支部に関わって、足掛け15年の歳月が過ぎようとしています。平成16年5月の「北部支部総会」に初めて参加した処、校友会本部の組織が再構築(平成15年3月設立総会開催)された直後で「西東京地域支部」は設置されていませんでした。西東京市から参加した10名の皆さんとそこで相談して、新たに設立する方向で決めて、後日田無駅近辺でお会いしました。その後、具体的に設立のための打ち合わせを数回行い新設する運びになり、平成17年(2005年)7月に「設立総会」を開催して、本部に届出をして、正式に認可を得て、「愛知全国大会」にて“西東京地域支部”の校旗を頂き、スタートしました。

初代地域支部長には有賀茂さんに受けていただき、その後10年に亘り基礎を作っていただきました。設立総会以降、先輩・後輩校友会員の粉骨砕身の努力による活動を経て今日に引き継がれています。設立当時の役員は15名ですが、その後物故者や病気になられた方を除き、6名の方が現在も校友会活動に関わっています。その後、平成27年(2015年)春の総会にて私：水井高志が二代目地域支部長を受け継ぎました。その間、役員をはじめ会員の皆さんの協力のもと二期4年に亘りなんとかその役目を果たし、将来のことを鑑みて、より発展するために新たな役員のもと令和元年5月の総会にてバトンタッチすることにしました。女性会員の参加を含め、新たな役員のもと新しい令和の時代らしく一段と刷新したメンバーでスタートすることが出来ました。役員をはじめ会員の皆さんと意見交換しながら、新時代らしく、内容のある活動を具体的に進めて、より充実した校友会を望んでいます。

会員の増強・地域社会への貢献・地元他大学との交流など新たに取り組んでいる様子を伺いますと、この上もなくうれしく、大いなる発展を期待している処です。今後も役員をはじめ会員の皆さんのお力沿いをいただき、より充実した活動を大いに期待しています。なお、私も陰ながら応援をして行く所存です。



左：2019 年新春交流会 中：2017 年バーベキュー懇親会 右：2019 年花見の会

『私の学生時代－山と過ごした日々－』

久保田 幸雄（昭和55年 政治経済学部卒）

八王子で育った私は、中学生の頃から地元の高尾山などの山を歩き始め、高校時代にはアルプスの山々にも足を延ばすようになっており、昭和51年に明治大学に入学したときには、登山のサークルに入ろうと決めていた。

山岳部やワンダーフォーゲル部などの話を聞く中で、自分の山の嗜好に最も合っていたのが「体同連ハイキング部」であった。部員数は100人近くおり、奥秩父や上信越などの山域を中心に活発に山行が行われていた。最初の部山行は、5月1日～4日の日程で道志の山を舞台に新人養成が行われた。途中から雨に降られ、下山路の峠からのグズグズに崩れた道を必死で下ったことを覚えている。その後、南アルプスへの班別山行や奥秩父での夏合宿などを重ね、また、9月に1年の同期で行った北アルプスの燕岳から常念岳を経て上高地へ下った個人山行などを経て、山の面白さにますます魅入られた結果、自分の生活に山は欠かせないものになっていった。

2年になったときは、新人を多く集めようと勧誘に力を入れたが、過ぎたるは及ばざるが如しで、50人を超える入部希望者が集まり、3年生の先輩からは「これではテントに入りきれないじゃないか。もう少し頭を使え」とどやされたのを覚えている。10人用テントに10人が寝るのは無理があり、夜中にトイレに立って戻ったときには、寝るスペースがなくなっていたという悲劇もあった。2年のときは、同期で誘い合って谷川岳、北アルプスなどへ個人山行によく出かけた。卒業から40年以上たった今でも、同期の絆は続いており、年に数回は集まって一杯やっている。

3年としてリーダーを取るようになり、夏合宿の候補地として南アルプスを検討したときには、過去に夏合宿で遭難者を出していたこともあり、先輩達からは「本当に夏合宿を安全に実行できるのか」と厳しいアドバイスをいただき、連日遅くまで話し合った。ときには怒鳴り合いになることもあったが、自分たちが本当に登りたい山を目指そうということで、南アルプス北部で合宿を行うことに決した。

夏合宿は、8月3日から9日まで、甲斐駒ヶ岳、仙丈岳、北岳、鳳凰三山を目的地として4パーティに分かれて縦走し、西山温泉キャンプ場へ集中するという方式で行った。縦走を終え、集中地では恒例のキャンプファイヤーを囲んだが、この後、思わぬアクシデントが控えていた。無事に合宿を終えた開放感と酒の勢いもあって、井桁に組んだファイヤーの丸太に足をかけて飛び越して遊んでいた同期の一人

が、丸太に足をかけた途端に井桁が崩れ、真っ赤な残り火の中に落ち込んでしまった。直ぐに引っ張り出したが、足に大火傷をおってしまい、救急車を要請して病院に運んだが、傷が全治し退院するまで1ヶ月以上かかった。このことが4年間の部生活の中で最も心残りの出来事であった。

その後も様々な山へ登り、今も引き続き登山を趣味にしているが、大学時代をふりかえてみると、山の雄大さを知ることができたこと、そして良き仲間との出会いが何よりも得難い体験になっていると感じている。



1979年3月春合宿3年集合写真

西東京紫紺会暑気払い

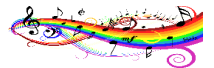


8月3日(土)16時30分から、田無駅そばの「日本海庄や」にて、暑気払いが盛大に行なわれました。参加者は20名を超え、明女会(西東京市在住の明大卒の女性の集まり)からも参加がありました。水井元支部長のあいさつ、濱田新支部長のあいさつのもと乾杯が行われ、土谷氏より「司馬遼太郎を語る会」の案内がありました。その後、各自簡単な自己紹介を行い、改めて校友の人となりを知る機会となりました。また、明女会から1名(大淵さん)地域支部への入会申し込みがあり、明女会とのコラボから会員増強につながる良い事例となりました。若手の心配をよそに、久しぶりにあう校友と「年齢を忘れて」酒を酌み交わし、語り合う楽しい時間を過ごしている姿は、実に頼もしいものでした。あっという間の2時間が過ぎ、大いに盛り上がる中お開きとなりました。その後有志が集まり「カラオケファンタジー」でカラオケ大会を行いました。カラオケ同好会の吉本さんを探すも見つからず、美声を聞きそびれたことが残念でした。



(報告 : 中村俊信)

◆カラオケ会開催のお知らせ ♪カラオケ同好会より♪



歌うのが好きな方も、歌ってみたい方も、ご参加お待ちしております

日時 : 9月27日(金曜日) 18:00~21:00

場所 : 田無 カラオケファンタジー 206号室 TEL 042-464-3471

田無駅北口駅前の日本海庄屋と同じ階

会費 : 1,000円 (アルコール飲料は自己負担をお願いします。)

申込及び問合せ先 : 吉本彰夫 TEL/FAX 042-461-2325 携帯090-6033-7076

新谷 誠 TEL/FAX 042-466-3398 携帯090-1764-7811

◆「日本100名城」の一つ、八王子城址散策のご案内

ボランティアガイドの説明を聞きながら散策ができます ~詳細はHPをご覧ください~

●実施日 : 9月29日(日) ●集合 : 13:00(午後1時) 中央線三鷹駅 改札口前

●行程 : 三鷹駅—中央線—高尾駅—バス—八王子城址—バス—高尾駅(解散)

※参加できる方は高尾駅付近で軽く懇親会を行いたいと思います。

●費用 : 交通費900円程度

●申込及び問合せ先 : 9月20日(金)までに久保田までご連絡ください。

携帯 090-7723-5311

パソコンメール kurea0203@ksn.biglobe.ne.jp

◆秋のゴルフ会のお知らせ

～ゴルフ同好会より～



武蔵野の面影を色濃く残す素晴らしい環境の中で、プレーを楽しみませんか

- 実施日 : 10月8日(火)
- 集合時間 : 8:00
- スタート時間 : 8:35、8:42 の 2 組
- 場 所 : 高根カントリー倶楽部 埼玉県比企郡滑川町福田4045 TEL 0493-56-2511
- 申込及び問合せ先 : 9月10日(火)までに飯倉までご連絡ください。
TEL 042-423-1552 携帯 090-9138-8466

◆バーベキュー懇親会のお知らせ



毎年恒例の第4回バーベキュー懇親会を開催します。ふるってご参加ください

- 実施日 : 10月19日(土)
- 日 時 : 14:00(午後2時)～17:00(午後5時)
- 参加費 : 4,000 円/人
- 場 所 : 西東京市いこいの森公園(原っぱ広場バーベキューコーナー予定)
- 申込及び問合せ先 : 10月14日(月)までに中村俊信もしくは地域担当まで連絡ください。
中村俊信 携帯 090-5504-9341(ショートメールがあります)

◆第19回市民まつり出店(予定)のお知らせ

市民まつりに参加し、例年の場所に出店予定、是非お気軽にお立ち寄りください。

- 実施日時 : 11月9日(土)10:00～16:00、11月10日(日)9:00～15:30
- 場 所 : 西東京市いこいの森公園

ニュース

明治大学校友、松元克央選手(2019年政経卒)が水泳世界選手権男子200m自由形で銀メダル獲得!

編集後記



二十四節気には、小暑(7月7日頃)、大暑(7月23日頃)、(立秋)、処暑(8月23日頃)があり、季語や季節のあいさつで使われる言葉では、向暑(初夏の暑さに向かう頃)、溽暑(梅雨の終わり頃)、残暑(秋の暑さ)があります。また、暑さの表現では、酷暑、極暑、激暑、厳暑、炎暑、猛暑があります。どれも文字を見ているだけで汗が出てきそうです。日本人は「暑い」をマイナスのイメージで捉えてきたようです。しかし、プール、海そして屋上ビアガーデン、どれも暑い夏でなければ楽しめません。そこで、新しい季節のあいさつとして「楽暑の候(ビールのおいしい暑さ続く日々)」「惜暑の候(楽しかった暑い日々を惜しむ今日この頃)」といったのはいかがでしょうか、夏は暑いから楽しい、これからはプラス思考で行きましょう。楽しい暑さの次は食欲の秋、山の幸、海の幸、今から楽しみです。(中村 俊信)

発行:明治大学校友会 西東京市地域支部 事務局:西東京市泉町 5-16-19-602(濱田様方)Tel. 042-421-3888

編集 広報委員会 : 栗田孝行・中村俊信・木村美栄子

<http://www.meiji-ntk.com/index.html>